

「四日市港戦略計画2015～2018」の概要について

1. 「四日市港戦略計画2015～2018」の位置づけ

「四日市港戦略計画2015～2018」は、四日市港長期構想（平成40年代前半を想定）で示した方向性を実現していくための実施計画と位置づけます。

2. 計画期間

4年間（2015年（平成27年）度～2018年（平成30年）度）とします。

3. 各政策の取組内容

(1) 政策1 物流を支える港づくり

4年間で目指す姿

- ✓ 背後圏の産業を支える総合港湾としての機能が充実している港
- ✓ 荷主企業や船会社からもっと選ばれる港

取組方向

<施策101 物流を支えるサービスの充実>

新規利用者の獲得に加えて、既存利用者にも焦点を当てた集荷対策や航路誘致の実施を通じた利便性の向上とともに、荷さばき地の提供や船席指定等を通じて、港湾活動の効率性や安全性の向上に取り組みます。

<施策102 物流を支える施設の充実>

物流需要に応じた施設の整備や必要な物流機能を維持するための長寿命化対策を進めることにより、利便性や物流の信頼性の向上に取り組みます。

➤ 4年間で新たに取り組む事業や整備等が完了する主な事業

- ◆ 既存荷主や船会社を対象とした支援策を拡充する。
- ◆ 霞ヶ浦北埠頭において、ガントリークレーンを増設する。
- ◆ 霞ヶ浦北埠頭において、民間事業者による物流センターの整備を誘導する基盤整備を完成させる。
- ◆ 霞4号幹線の供用開始に向けた整備を促進する。

(2) 政策2 安全・安心を支える港づくり

4年間で目指す姿

- ✓ 背後地の住民・企業や港の利用者等の生命・財産を守る港
- ✓ 被災後、速やかに背後地の復旧・復興を支える港

取組方向

<施策201 安全・安心を支える仕組の充実>

住民や港湾関係機関等との連携による研修・訓練を通じた初動体制や復旧体制等の確認・検証・見直しを進めることにより、防災・復旧体制の実効性の向上に取り組みます。

<施策202 安全・安心を支える施設の充実>

海岸保全施設の耐震補強整備や長寿命化対策を実施するとともに、港湾施設の長寿命化対策や適切な水域管理に取り組むことにより、津波・高潮等の自然災害に対する防護機能や港湾活動の安全性の向上に取り組みます。

➤ 4年間で新たに取り組む事業や整備等が完了する主な事業

- ◆ 復旧・復興体制における国内他港との広域連携を進める。
- ◆ 海岸保全施設に係る基本計画及び長寿命化計画を策定し、効率的な整備を進める。
- ◆ 富田港地区海岸の護岸補強を完成させる。
- ◆ 放置艇解消に向けた計画を策定する。
- ◆ 清掃船の代替船を建造する。

(3) 政策3 環境を守り、親しまれる港づくり

4年間で目指す姿

- ✓ 地球環境や自然環境の保全に貢献する港
- ✓ 県民・市民が身近に感じる港

取組方向

<施策301 環境を守る機会と空間の充実>

水環境の保全、環境学習等を実施するとともに、海浜・干潟等の保全や温室効果ガス削減効果のある施設の整備や維持管理を進めることにより、自然環境の保全や温室効果ガスの削減に取り組みます。

<施策302 親しまれる機会と空間の充実>

港を学び、憩い、集うことのできる機会の拡大や歴史的・文化的資源等を活かしながら、緑地・公園等の空間としての魅力の向上を進めることにより、県民・市民の四日市港に対する親近感の向上に取り組みます。

➤ 4年間で新たに取り組む事業や整備等が完了する主な事業

- ◆ 藻場再生に向けた実証実験を新たに行う。
- ◆ 停泊中船舶への陸電供給施設を整備する。
- ◆ 富双緑地等の緑地・公園の利用促進に向けた利用環境整備を行う。
- ◆ 千歳地区における4号物揚場の緑地整備を完成させる。
- ◆ 臨港地区における土地利用規制の見直しを行う。

4. 計画のマネジメントについて

戦略計画を推進するにあたり、毎年第2回定例会全員協議会において実施している成果報告等を通じて、前年度の取組の振り返りや今後の課題の明確化、課題解決に向けた取組方針の決定という

Plan（企画）—Do（実施）—Check（評価）—Action（改善）

のサイクルを推進することにより、計画の着実な進捗管理を図っていきます。